



理数科の2年生が課題研究中間発表会を行いました。



理数科の2年生は、物理・化学・生物・数学・人工衛星の5グループに分かれ、グループ内でさらに4人程度の班をつくって、テーマを設定し研究に取り組んでいます。課題研究中間発表会では、4月から取り組んできた研究の過程や成果について、大学や企業で研究を行っている研究者の方々を来賓に招き発表を行いました。今回の発表会は、グループごとに発表会場を分け、さらに参観する保護者や中学3年生は発表の様子をオンラインで配信するなど、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催しました。生徒たちは、自分たちが取り組む研究の背景や意義、そして先行研究との違いをパワーポイントにまとめて発表しました。どのように発表すれば聴き手に自分たちの思いや研究の意義を伝えることができるか、研究班ごとにスライドのレイアウトを工夫したり発表練習を何度も行ったりするなど、事前準備を綿密に行って発表に臨みました。

発表後は、来賓の先生方との質疑応答を通して研究内容の修正や今後の方向性について多くのアドバイスを頂きました。参観していた理数科の1年生や中学3年生からは、分かりやすく研究に興味を持てる発表だったと非常に好評でした。今後生徒たちは、頂いたアドバイスをもとに1月末に行われる課題研究最終発表会に向けて、追加実験を行いさらに研究を深めていきます。

<発表した生徒の感想>

- 発表の準備を進める中で、自分たちの研究への理解がより深くなった。発表をすることは人のためではなく、自分のためになると気づいた。
- 大学の先生から質問されることで、新しい問題点に気づくことができた。今後、指摘された問題点を修正していくと、もっと良い研究になると思った。

<参観した生徒の感想>

- 先輩たちの発表はどれも分かりやすく、面白かった。来年自分が課題研究をするときの参考になった。早く課題研究に取り組みたい。(理数科1年生)